

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2020～21年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日 会長 染谷 義一
例会場：パレスホテル大宮 幹事 荒井 理人 第2676例会 2021/2/15
例会日：月曜日 12:30～13:30 雑誌・会報委員会 榎本 貞寿 発行日 2021/3/1

会長挨拶

会長 染谷 義一

皆さんこんにちは。会員の皆様、オンラインでのご参加大変ありがとうございます。

本日は2017-2018年度の米山記念奨学生でありましたシャキヤさんがご夫妻でご参加いただいております。

昨日ご結婚され明日からハネムーンと伺っております。本日はオーストラリアからのご参加ということで大変国際色豊かな例会になり、このところの閉塞感から解放された様な感じが致しております。後ほど火傷しそうな熱い近況報告をしていただきたいと思います。

さて、本日の例会主題ですが「ピンクリボン・鉄博の事業報告例会」です。長年に亘り当クラブの継続事業として開催されてまいりましたが、前年度でその役割も終わりました。この事業の立ち上げ当初から汗をかいてきてくださいました高橋秀樹パスト会長、小林プログラム委員長にもご協力を頂いて社会奉仕委員会が中心となって企画をしていただきました。どうぞ「ピンクリボン運動・鉄道博物館ナイトミュージアム」の歩み、変遷をご覧いただきたいと思います。

そして次回例会ですが2月開催予定でありましたIMの振り替えとなりますので22日の例会はございません。次回お会い致しますのは3月1日となりますのでご注意ください。

それでは本日の例会も宜しくお願致します。

以上、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



幹事報告

幹事 荒井 理人

皆さまこんにちは。幹事報告を行います。

本日は、この後、執行部役員会がございます。該当者の方はそのままZoomにてご参加くださいますよう、宜しくお願いします。

例会は2週間休みになります。したがって次回は

3月1日のZoom例会となりますので、お間違えの無いように気を付けて

ください。また、3月8日より通常例会とZoomのハイブリット例会となります。皆さまにお会いできることを、楽しみにしております。

本日も宜しくお願いします。



お客様紹介

2017-18年度
米山記念奨学生（卒業生）
シャキヤ・スラクシャさん
とご主人（Zoom）



事業報告会

■主旨説明：社会奉仕委員長 吉田 浩士

昨年まで開催された「ピンクリボン運動」「鉄道博物館 ナイトミュージアム」の事業の総決算です。それぞれの事業の経緯と効果を発表、未来の社会奉仕活動を考える一助にしたいだけだと思います。



みんなが開く 新しい扉 ～新しい世界へ～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



ピンクリボン運動 パスト会長 高橋 秀樹

■ピンクリボン運動とは

1980年代アメリカで、乳がんで亡くなった患者さんのご家族が、「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込めて作られたリボンからスタートした乳がんの啓発運動です。



■埼玉県でのピンクリボン運動

埼玉県の乳がん検診受診率は2005（H.17）年、全国最下位（さいたま市も同様）。

埼玉県におけるピンクリボン運動への取組み
・2007（H.19）年 県内初のピンクリボン運動「ピンクリボンウォーク in 戸田市」をスタート（2017年迄）。

・2008（H.20）年「さいたま新都心 JAZZ VOCAL CONTEST」に乳がんブースを設置。

・2009（H.19）年「NACK5 ピンクリボンチャリティーオークション」に協力。

この取組等により乳がん検診率は徐々にアップ。

ピンクリボン運動 8年の歩み

| 年 度 | 実施日・場所 | ゲスト | 参加者(名) | 事業経費(円) | 乳がん検診率(%) (前年比) |
|------------------------|--------------------|--------------------------------|--------|--|--------------------|
| 2013-2014年 内山 泰成年度 | 10月28日 榊原公園 | ミスユニバース埼玉10名 | 50 | 287,738 | 22.3 41.4 |
| 2014-2015年 伊田 雄二郎年度 | 10月25日 榊原公園 | ミスユニバース埼玉11名 ※ピンクリボンジャンパー製作 | 200 | 728,846 高松大 1,200,000 内務省 1,500,000 | 23.6 - |
| 2015-2016年 田口 修身年度 | 10月31日 榊原公園 | ミスユニバース埼玉12名 | 200 | 477,676 | 25.8 - |
| 2016-2017年 新見 和典年度 | 10月9日 イベント広場 | ミスユニバース埼玉12名 | 240 | 434,360 共済セレクト 1,000,000 内務省 564,840 | 23.6 43.1 |
| 2017-2018年 高橋 秀樹年度 | 10月28日 第一展示場(西) | アグネス・チャン 鹿田尚奈、ミスアース11名 | 300 | 564,840 共済セレクト 1,000,000 内務省 564,840 | 24.2 - |
| 2018-2019年 新井 清大年度 | 10月27日 榊原公園 | 生稲 寛子 ※ピンクリボン階段アート製作 | 520 | 共済セレクト 1,000,000 内務省 1,200,000 内務省 300,000 | 22.2 - |
| 2019-2020年 小木曾 曾年度 | 10月26日 イベント広場 | 生稲 寛子、大庭 有貴 ※ピンクリボンステッカー製作 | 570 | 1,593,095 共済セレクト 1,000,000 内務省 593,095 | 22.5 46.0 |
| 2020-2021年 染谷 義一年度 | コロナの影響で 中止 | | | | 47.4 |

■大宮西RCでピンクリボン運動を開始

県の取組みにより乳がん検診受診率は、徐々にアップしたものの、2010（H.22）年の受診率は、埼玉県は22.9%、さいたま市は16.1%と、全国最下位は変わらず。（全国平均は24.3%。厚労省の目標は50%）地元大宮で、ピンクリボンに込めたメッセージを広めたい。

乳がん検診を勧める啓発行動を行うことで、家庭や仕事に多忙な女性が自身の乳房の健康に関心を向けていただく、又男性にも関心を持っていただくことで、乳がんに罹患した患者さんとそのご家族の辛い思いを少しでも減らしたい。この思いで、2013（H.25）年よりクラブの新たな地域貢献事業として、ピンクリボン運動を開始しました。

ピンクリボン運動8年間の取組の結果、乳がん検診受診率は、

| | さいたま市 | 埼玉県 | 全国 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 2010（H.22）年 | 16.1% | 22.9% | 24.3% |
| 2019（R.1）年 | 22.5% | 46.0% | 47.4% |

全国・埼玉県は倍増。一方、さいたま市の伸びは今一つ。

クラブの地域貢献事業としてのピンクリボン運動を

- ①10年目となる60周年まで従来通り継続実施
- ②委員会から脱退し協賛（資金提供）の形で支援
- ③一定の成果が得られたものとして、事業を終了について検討する必要あり。



2013-14年 内山年度



2014-15年
伊田年度



2015-16年
田口年度

2016-17年
新見年度

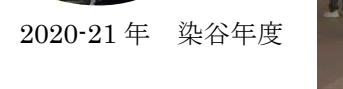


2017-18年 高橋年度

2018-19年 新井年度



2019-20年 小木曾年度



2020-21年 染谷年度

鉄道博物館
「ナイトミュージアム」
プログラム委員長 小林 政良

鉄道博物館ナイトミュージアムの事業の総括をさせていただきます。

本来でしたら6回開催する予定でしたが、第6回目に関しては事業計画を進めていたものの、事業自体は中止となりましたので、実際は5回の事業となりました。



■事業名

事業名でございますが「鉄道博物館ナイトミュージアム、親子で学ぶ鉄道の街大宮」という事で、我がクラブの創立記念月の一環として3月に開催いたしました。当時、我がクラブの会員でありました大宮駅長の筑波会員のご尽力をいただき、鉄道博物館を貸切りにして、事業を行う事が出来ました。

■事業の目的

この事業は大宮区の小学校9校の児童、保護者そして大宮ろう学園の児童、生徒、保護者を招待し、鉄道の街大宮の歴史を共に学んでいただくことで地域社会に貢献することを目的とした事業でございました。

2019-2020 年度、第6回目の開催予定で荒井理人社会奉仕委員長と私で動いていたのですが、鉄道博物館側で我がクラブと同じく近隣の子供たちを招いて無料開放する企画があるとの情報を受け、検討した結果、同じ事業をやっても意味がないと判断し開催を取りやめることとなりました。



2014-15 年
伊田年度



2015-16 年
田口年度



2016-17 年 新見年度



2017-18 年 高橋年度



2018-19 年 新井年度

■事業の総括および効果

事業総括と効果の確認でございます。11,500 名を超える参加者に対して鉄道の街大宮の理解、そして地域貢献は出来たかと思えます。そして何より、鉄道博物館側が無料開放を行うような企画を出し、我々の事業を通じて、継続したい事業と認識をしていただいた事により、事業の移行が出来たこと、大変嬉しく思います。

主旨を達成できたことにより我々の役目は終わり、次の社会奉仕事業へと移りゆきます。

この事業を5年に渡り継続をしていた中で、一度の事故も起こさなかったことは非常に良かった点です。

1回の事業で約100万円前後、5回合計500万円以上をかけたビックプロジェクトに参加でき、本当に良かったです。そして何より、会員の皆様のご協力により事業成功を収められたことに深く感謝を申し上げます。

最後に次の社会奉仕事業も成功出来ることを願い、総括とさせていただきます。

2017-18 年度米山記念奨学生
シャキヤ・スラクシャ さん 結婚報告



「皆様お久しぶりです。米山奨学生のあとオーストラリアに来て、昨日結婚しました。」
「旦那さんはネパールの学校の友達です。」
「彼の仕事はレストランカフェのマネージャーです。私は外国人のために手伝ってあげる仕事をしています。自分の会社を作りたいと頑張っています。」

